

北秋田地域振興局庁舎・特殊車庫消防設備点検業務委託特記仕様書

1 業務概要

- (1) 委託名 北秋田地域振興局庁舎・特殊車庫消防設備及び防火設備点検業務委託
- (2) 業務場所 北秋田市鷹巣字東中岱 7 6 - 1
北秋田地域振興局庁舎及び特殊車庫
- (3) 履行期間 令和 8 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 3 1 日まで

2 委託業務内容

- (1) 庁舎消防設備の点検
総合点検 1 回(機器点検を兼ねる)、機器点検 1 回
ア 屋内消火栓設備
イ 自動火災報知設備
ウ 防排煙設備
エ 消火器具(特殊車庫及び乗用車庫設置分を含む)
- (2) 特殊車庫自動火災報知設備の点検
総合点検 1 回(機器点検を兼ねる)、機器点検 1 回
ア 自動火災報知設備
イ 防排煙設備
- (3) 庁舎総合消防訓練への立会
屋内消火栓使用方法説明
- (4) 建築基準法(昭和 25 年法律第 201 号)第 12 条第 4 項の規定に基づく防火設備の点検

3 機器

- (1) 庁舎消防設備
 - ア 屋内消火栓 6 台
 - イ 消火栓ポンプ 1 台
 - ウ 粉末消火器 3 4 本(特殊車庫及び乗用車庫設置分を含む。)
- (2) 庁舎自動火災報知設備
 - ア 受信機 1 面
 - イ 発信機 6 個
 - ウ 音響装置 6 個
 - エ 熱感知器 8 9 個
 - オ 煙感知器 1 5 個
 - カ 消火栓起動リレー 1 台
 - キ 防火扉・シャッター 1 式(防排煙設備)
- (3) 特殊車庫自動火災報知設備
 - ア 受信機 1 面
 - イ 発信機 2 個
 - ウ 音響装置 4 個
 - エ 熱感知器 4 9 個
 - オ 煙感知器 1 個
- (4) 庁舎防火設備
 - ア 防火シャッター 1 枚
 - イ 防火扉(S) 5 面

4 実施方法

- (1) 1回目
庁舎及び特殊車庫消防設備の総合点検(機器点検を兼ねる)を行う。また屋内消火栓の使用方法の説明を行う。
- (2) 2回目
庁舎及び特殊車庫消防設備の機器点検を行う。
- (3) 訓練
総合消防訓練へ立会し、屋内消火栓の使用方法の説明を行う。
- (4) 平成28年国土交通省告示第723号に基づき点検を行う。

5 提出図書

- (1) 委託業務着手届 契約後速やかに
- (2) 年間業務計画書 契約後速やかに
- (3) 点検報告書 作業実施後
- (4) 有資格者証の写し 入札参加資格確認申請書等の提出期限までに

6 委託に従事する者(有資格者)

本委託を遂行するための有資格者として、(1)及び(2)の資格を有する者を雇用しており、業務責任者として配置できること。

(1) 消防設備の点検

次の点検項目を全て点検できる資格を有すること。

点検項目	要する資格	
	消防設備士	消防設備点検資格者
自動火災報知設備	甲種又は乙種4類	2種
防火戸・シャッター (自動火災報知設備と連動)	甲種又は乙種4類	2種
漏電火災警報器	乙種7類	2種
屋内消火栓設備	甲種又は乙種1類	1種
消火器	乙種6類	1種

(2) 防火設備の点検

①～③のうちいずれかの資格を有すること。

- ① 一級建築士
 - ② 二級建築士
 - ③ 次に掲げる者で「防火設備検査員資格者証」の交付を受けた者
 - ③-1 「登録防火設備検査員講習」(新講習)修了者
 - ③-2 次のうち国土交通大臣が認定した者
 - ・ 建築基準適合判定資格者
 - ・ (一社)日本建築防災協会の「防火設備検査員に関する講習」の修了者
- ※平成28年2月9日までに実施された修了考査合格者に限る

7 その他

- (1) 作業に使用する器具等は、特に定めのない限り受託者が準備すること。
- (2) 故障等の緊急事態に備え適切な処置が行えるような体制を確保すること。
- (3) 本委託にかかる点検作業は、安全確保のため有資格者が行うこと。
- (4) 作業のため庁舎執務室等を利用したい場合は、委託者と協議すること。
- (5) 作業のために自動車で来庁する場合、敷地内駐車場を利用してもよい。
- (6) この仕様書に定めのない事項、又は仕様に疑義が生じた事項については、委託者と受託者が協議のうえ定めるものとする。